

WEB 連載

Entertainment・Essay

木村奈保子の
音のまにまに

Written By NAOHOKI KIMURA

身近に迫る現実社会の悪——“感染列島”の行方やいかに？

木村奈保子の音のまにまに | 第18号

新型コロナウイルス発生で、世界中が脅威にさらされている。

日本では、世界の遅れが指摘され、スポーツや音楽イベントも次々に中止の流れ。ビジネスへの影響も計り知れず、先の見えない事態を招いている。

政府は、国民にいろいろな自粛行動を要請しているが、それに対する生活や経済補償は何も差し出されない。

一番の恐怖は、世界中でふんだんに配布される検査キットが日本だけ、不足していることだ。いや、ないのかと思ったら、あるのに、出さないのである。保険対応を決定しても、検査はほとんどの人がまだ受けれない状態だ。

信じられない。

検査により、感染者の人数がカウントされるのが怖いのか、何らかの理由で、特定のメーカーのみを指定しているのか？

いずれにしても、政府は神対応でも、愚対応でもない。もはや、悪魔対応か。

一方、国会では、誠意のない言い訳大会が行われている。権力側の人間はどんなに責任を追及されても、びくとも、ハツともしない。

まるで豪華客船、船内のように感染エリアの仕分けがなく、誰も悪も仕切りなく、無法地帯になり、感覚が鈍ってしまっているのだろうか。

映画のタイトル「Devil's Advocate」（悪魔の弁護人）が頭に浮かぶ。

「ディアボロス・悪魔の辯」（97年・米）では、欲望のために魂を売った大人たちに、染まりゆく若き弁護士が、いかに立ち向うかが微妙な関係性のなかで描かれる。悪魔に魂を売る瞬間がこれほどリアルに描かれた作品はない。

さて、今の時期に、映画「感染列島」（2009年、日）はなかなか見る価値がある。特に緊迫感が伝わらない政府関係者にはおすすする。映画どころではないと思うかもしれないが、こうした映画を見て先に、感じることが大事だろう。映画は、現実離れのファンタジーやコメディばかりではなく、真実と向き合うためのジャーナリスティックな視点もある。

物語は、日本の救急病院に謎のウイルスにかかった患者が運び込まれたところから始まる。たちまち院内感染が広まる中、若い医師らが、感染源を調べていくサスペンス仕立てになっている。

主人公は、WHOから派遣されたメディカルオフィサーで、彼女が指揮を執り、不眠不休のスタッフたちと未知のウイルスに挑む。某国のウイルス発生から次々と感染を広げる展開は、今の状況に似ている。

感染者の大きな咳による飛沫と血を吐く姿で苦しむようすが描かれ、そのウイルスは、医療従事者をも簡単に襲っていく。未知のウイルスを想定している話だが、映画的な誇張を差し引いても、リアルで興味深い。

そして謎が明かされる感染源は、犯罪や悪と無縁の「善人」である。公開時のキャッチコピーが、「神に裁かれるのは、人間か、ウイルスか？」というものだった。

本作は、正義感の強いエリートヒロインを主人公にしており、医療従事者たちの緊迫感に満ちた誠実な姿勢が軸にある。

いまの新型コロナ感染状態を映画に例えるなら、政府の「悪魔対応」抜きには語れないだろう。

見えない恐怖がウイルス以外にもあるのだから、我々庶民は本当にこの状況を戦い抜くことができるのだろうか？

感染映画と言えば、「カサンドラクロス」（1976年、伊・西独・英）は名作だ。

アメリカの研究機関に忍び込んだテロリストが、誤って細菌感染し、ストックホルム行きの列車に乗り込む。保険機構の女医は、列車を止めて犯人を隔離しようとするが、車の情報部はすでに乗客1000人とも感染しているのではと考え、行き先をポーランドの隔離キャンプへ変更しようと目論む。感染列車のスタートだ。

目的地に着くまでには、30年も使用されていないカサンドラクロスという古い鉄橋を超えなければならぬ。隔離された感染列車に乗り、古い鉄橋でふるい落とされるしかない、見捨てられた乗客たちの運命はいったい——？

エンタテイメントの力が大きい、かつての大作パニック映画だが、こうしたジャンルにも社会的なテーマが含まれることは少なくない。

映画では、実にわかりやすく善と悪が描かれる。しかし、昨今は現実社会の悪がどうも、より身近に感じられる今日この頃。

平和ボケ、と言われる日本でも、差し迫る恐怖を感じるばかりだ。

＊「感染列島」は、Amazonプライム・ビデオにて無料配信中＊



木村奈保子

作家、映画評論家、映像制作者、映画音楽コンサートプロデューサー
NAHOKI（ナホキ）デザイン、ヒーローインターナショナル株式会社代表取締役
www.kimuranahoko.com

NAHOKI Information



木村奈保子さんがプロデュースする「NAHOKI」は、欧州製特殊ファブリックによる「防水」「温度調整」「衝撃吸収」機能の楽器ケースで、世界第一線の演奏家から愛好家まで広く愛用されています。

Made in Japan / Fabric from Germany

問合せ＆詳細はNAHOKI公式サイトへ

PRODUCTS

2コンパートブリーフケース「Deniro/wf」

2コンパートブリーフケース「Deniro/wf」は、ハードケースを収納する側とかばんとして使用する側を完全に仕切り、2つのコンパートメントで作られたNAHOKIブリーフの決定版です。

まずカバン側には、日常の小物が仕分けして入れられます。ケース側には太い固定ベルトにより、フルート・オーボエ・クラリネットのハードケースがそれぞれ固定できる構成になっています。

フルートの場合、C管orH管ハードケースとビッコロを並べて固定ベルトで留められます。

（ただし、NAHOKIシングルケース、アマデウスに入れて収納したい方は、C管のみ可能です。）



ブラック / アイボリー

>>BACK NUMBER

第12回：母と娘

第13回：ブルーノートのレジェンドたちに感じる「アーチスト・ファースト」

第14回：「レッドドラゴン」VS「ジョーカー」

第15回：ロバート・デ・ニーロの偉大成「アイリッシュマン」

第16回：アートと社会問題……2020年の前向きに

第17回：「楽園箱」と正義と……

[Facebook](#) [Messenger](#) [Twitter](#) [LINE](#) [Eventbrite](#) [印刷](#)

く前の記事



「楽園箱」と正義と……

| 関連記事 |

平昌オリンピックと音楽 | 木村奈保子の音のまにまに | 第1号

MeTooの土壌、日本では？ | 木村奈保子の音のまにまに | 第2号

女性の告発に、なぜ目をつぶるのか | 木村奈保子の音のまにまに | 第9号

知るべきすべては音楽の中に——楽器を通して自分を表現する | 木村奈保子の音のまにまに | 第7号

ヒロイックな女たち | 木村奈保子の音のまにまに | 第5号

エリック・クラプトン〜サウンドとからむ生きざまの物語〜 | 木村奈保子の音のまにまに | 第3号

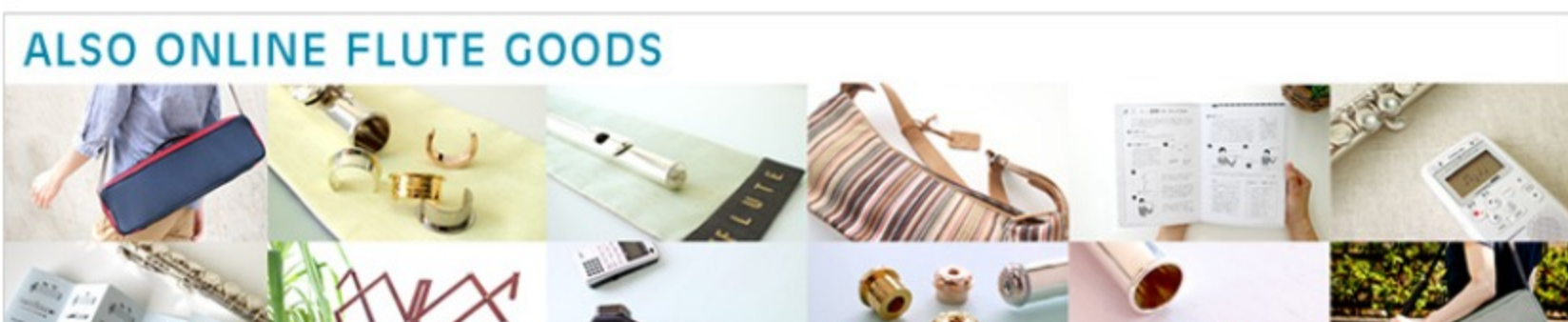
看板ではなく感性で聴くことから文化が高まる | 木村奈保子の音のまにまに | 第8号

思いあふれて……振り下げて深める音楽愛 | 木村奈保子の音のまにまに | 第10号

アーティストの言葉に触れよう BackNumber

Cover Story

ALSO ONLINE FLUTE GOODS



Flute Concert Guide

フルートのコンサート情報をお届けします。

PDF Download

アルソ出版

発売楽譜

ダウンロード販売 スタート！



THE FLUTE お知らせ



THE FLUTE vol.174
THE FLUTE | バックナンバー
FLUTE CLUB入会・更新はこちら
フルート楽譜一覧

ENTRY 投稿・応募

>> THE FLUTE アンケートへ



オリビアを聴きながら 吉屋	▶ 941
悲しくてやりきれない 村上千枝	▶ 493
赤いスイートピー 松田聖子	▶ 549
若者たち 森山直太朗	▶ 381
未来予想曲 Dreams Come True	▶ 404
夢をあきらめないで 岡村孝子	▶ 551
恋はみずいろ L'amour est bleu	▶ 403
ロビンソン スピッツ	▶ 600
最の瞳に恋してる Can't Take ...	▶ 552
PIECE OF MY WISH 今井美樹	▶ 447
Hello, Again〜昔からある場所〜	▶ 800
Can You Celebrate? 安室奈美恵	▶ 1.9K
負けないで ZARD	▶ 751
夜更ノムコウ SMAP	▶ 559

ALSOonline フルート楽譜音源

Cookie policy

フルート記事フルート記事



「前」このページに「いいね！」 2,400



The Flute ザ・フルート 5分間

オンライン連載「フルートしくじり学」by リンクス
「海外特別編」後編が公開しました
今年20周年を迎えたリンクス。ベルギーコンサート、ドイツの教会でのレコーディングのエピソードを振り返ります。
<https://www.alsoj.net/flutemagazine/view/773/3648.html>

HOT VIEW

今話題の人気記事

GEAR



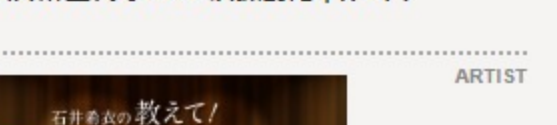
お気に入りのアルトに出会う アルトフルート 図鑑



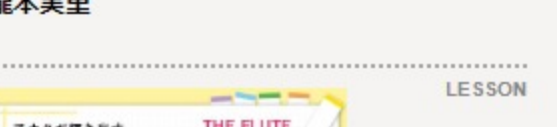
第6回 インタビュー編「上野由恵と絵画」



酒井麻生氏のJAZZ店探訪 | 第1回



石井希衣の教えて！コンテスト 第1回 | 堀本実里



フルートを知ろう



PRAY FOR KYOUN 「はいおん！」を想いで



第3回 インタビュー編「阪上領とサッカー」



File:08 | 本音前は食事む大事！リンクスのフルートしくじり学



第1回 | 「ヴァイオリンと管弦楽のためのファンタジー」



山元康生の吹奏楽課題曲集「ノード・マーズ編」

PAGE TOP

MAIL NEWS

ALSO ONLINE

メールニュース登録・解除

登録はこちら ケータイにURLを直接

ALSO

ALSO PUBLISHING CO., LTD.

ザ・フルート | 広告掲載について | お問い合わせ | 掲載スタッフ採用情報

© COPYRIGHT ALSO PUBLISHING CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.